

【短報】東京都稲城市でマメチビケシキスイを採集



図1. マメチビケシキスイ♂
(稲城市大丸産)。

Fabogethes nigrescens (Stephens, 1830) は旧北区(ヨーロッパとその周辺)に分布し、北アメリカに移入されている種で、Hisamatsu (2019) が愛媛県下から日本初記録として報告し、マメチビケシキスイの和名を与えている。Hisamatsu (2019) によれば、本種はシロツメクサ *Trifolium repens* Linnaeus をはじめとするマメ科植物を宿主とし、日本には最近になって移入されたいとのことである。筆者は本種を東京都稲城市で採集しているので、本州初記録として報告する。



図2. ♂交尾器中央片。

1♂, 稲城市大丸(多摩川河川敷), 18. IV. 2019 (図1-4); 5♂♂, 稲城市若葉台(上谷戸=かさやと), 6. IV. 2020. すべて筆者採集・保管。

多摩川河川敷では草地のスーピングで、上谷戸では花の咲いた

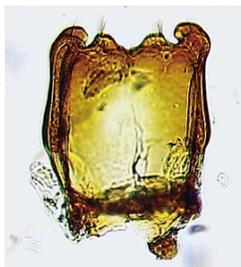


図3. ♂交尾器包片。

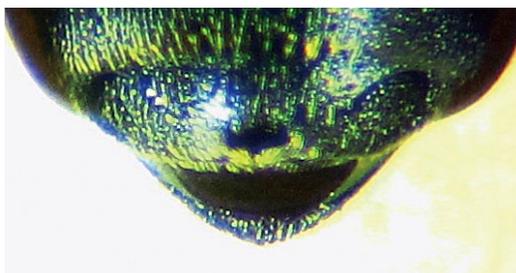


図4. ♂第7腹板。

イロハモミジ *Acer palmatum* Thunberg をスーピングして得た。

同定は Hisamatsu (2019) の示した諸特徴により、とりわけ交尾器(図2-3)が図示されたものとよく一致すること、♂第7腹板先端に光沢をもった横長の平圧部があるという記述に一致する特徴が見られること(図4)による。

引用文献

Hisamatsu, S., 2019. New records of *Fabogethes circularis* (J. Sahlberg, 1903) and *F. nigrescens* (Stephens, 1830) (Coleoptera, Nitidulidae, Meligethinae) from Japan. *Elytra*, Tokyo, New Series, 9 (2) : 349–351.

(伊藤 淳 183-0012 府中市押立町 5-1-25)

【短報】宮崎県におけるアカチビオオキノコの追加記録

アカチビオオキノコ *Tritoma takahashii* Nakane, 1966 は、九州の青井岳で採集された個体を基に記載された種であり、原記載以降、宮崎県高原町、鹿児島県佐多町、同県南大隅町から記録がある(生川, 2004; 生川・細川, 2014; 小田, 2019)。本種が集まるキノコについてはカワラタケ *Trametes versicolor* (L.) Lloyd が報告されている(生川, 2004)のみであり、その他採集状況としては、灯火への飛来(生川・細川, 2014)およびライトトラップ(小田, 2019)が報告されている。

筆者は、宮崎県都城市にて、本種をクジラタケ *Trametes orientalis* (Yasuda) Imazeki と思われるキノコから採集しているので報告する。

5 exs., 宮崎県都城市夏尾町御池, 3. V. 2019, 筆者採集(図1, 1 ex. は生川展行氏保管, 他は筆者保管)。

5頭とも苔むしたシデ類の倒木の側面から下面に生えた、クジラタケと思われる未熟なキノコから得



図1. 宮崎県産アカチビオオキノコ(左:背面, 右:腹面)。